

Global and Innovation Gateway for All

GIGA 通信

-児童生徒 1 人 1 台端末の日常的な活用に向けて-



発行元

佐野市教育センター

佐野市上羽田町 1134 番地 1

電話 20-3108

20-3048(相談専用)

今日から 2 学期、早いもので児童生徒 1 人 1 台端末の本格的な運用が始まって約 5 ヶ月が経過しました。本市に限らず、日本全国で端末の活用が急速に進み、学校での児童生徒 1 人 1 台端末活用は「当たり前」という雰囲気が感じられます。

緊急事態宣言下のオンライン学習の影響は大きかったようです。

さて、いよいよ「効果的な活用」が問われる段階になってきました。教育センターとしては、今後も「端末の効果的な活用」に関する情報提供を様々な場面と方法で行っていく予定です。

今回は、4 月以降に市内の市立学校にお願いしている ICT 活用に関する実証実験等をご紹介します。市内教職員の皆様には、どんなことが市内の市立学校で行われているのかを知っていただく機会となれば幸いです。

○学習者用デジタル教科書に関する実証実験

4 月から市内 16 校の市立学校で学習者用のデジタル教科書に関する実証実験を行っていただいています。

小学校		葛生小		道徳
天明小	音楽	氷室小		保健
植野小	家庭	あそ野学園 (前期)		理科
犬伏東小	算数	中学校		
城北小	書写	南中		国語
吾妻小	社会	北中		英語
出流原小	国語	赤見中		道徳
吉水小	英語	葛生中		数学
栃本小	図工	あそ野学園 (後期)		理科

各教科ごとの利用割り振りは、上記の通りで、利用にあたっては特に規定等はなく、各校の



実情に応じた利用をお願いしています。

写真は葛生中学校での利用の様子です。葛生中学校には数学のデジタル教科書の利用が割り振られました。授業では、端末が教科書代わりで、紙ベースの教科書は基本的には家庭学習用として利用しているそうです。

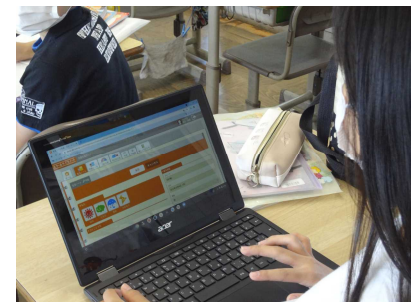


○『スクールライフノート』のモデル校

本市で採用している校務支援システムを提供するエデュコム社が開発した「スクールライフノート」というシステムを城北小学校と北中学校で 9 月からモデル校として活用いただいています。



朝や帰りの気分を「晴れ」「くもり」「雨」「かみなり」といった天気で表現したり、毎時間の振り



り返りを端末で行ったりするものです。写真は、城北小学校の登校直後の教室の様子です。提出物等を提出後に、「こころの天気」の入力を行っていました。

両校での活用は、来年 3 月までになります。こちらも学校の実情に合わせた活用をお願いしています。(文責 教育センター所長)